

# 起業家・スタートアップ交流ラボ2025

9月28日、秋田拠点センターアルヴェにて「起業家・スタートアップ交流ラボ2025」が開催され、会場には35のブースが出店された。開会式終了後、ステージではファシリテーターにファイオン株式会社代表取締役・マティログ氏を迎え、先輩起業家によるトークセッションが開催された。

出店ブースには秋田大学とNTT東日本によるイノベーション・プログラム「ASHIOTO—足音—2025」と連携し、参加した若手人材も多く、ITやAIといった先進的な技術を取り入れた事業を検討する団体や学生たちの交流が盛んに行われ、会場は活気に満ちていた。



## 1 スペシャリストインタビュー 「水野勇気を深堀り! 3つのターニングポイント」

**ゲスト** 秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長 水野 勇気 氏

平成21年に秋田ノーザンハピネッツ株式会社を創業した水野さんに、会社経営におけるターニングポイントを3つ振り返ってもらったトークセッションを開催した。会場では熱を帯びた水野さんの言葉に、頷きながら聞き入る参加者の姿が多く見られた。

高校時代から興味を持っていたプロスポーツマネジメントを本場・アメリカで学び、その後国際教養大へ進学した水野さん。会社設立前には、自らが関わる人を増やし、資金を集めるために「秋田プロバスケットボールチームをつくる会」を作った。毎日朝と夕方に秋田駅前で署名活動を行い、多くの県民に呼びかけを行った。そのころ、先に成功している事例として仙台89ERSに経営や運営

のためのノウハウを学びに行っていたという。「ラッキーにはすべて行動がある」と当時を振り返り、「人脈は作るものであり、行動しなければ得られないもの」と断言する。リサーチや経験を通じて得た自分の考えは、自ずと事業計画書に深みを与えてくれたという。

Bリーグプレミアに参入するためには、2シーズン連続で年間平均売上が12億を超える必要がある。秋田には年間売上10億を超える企業はほとんどない中で、この12億を達成し、ハピネッツは昨年12月にBリーグプレミア参入を決定している。

水野さんは「目標は大きく、ゴールを設定したら逆算して計画を立て、ひとつひとつクリアしていくことが大切」と力強く語った。

## 参加者の声

### クラフトコーラ、竹小物など

#### AIU環境クラブ

代表代行 長谷 和奏さん(秋田市)

国際教養大学の公式クラブである「AIU環境クラブ」では、部員が興味を持った環境問題に対して、主体的にさまざまなプロジェクトを立ち上げ、課題解決への取組を行っている。

地域と連携を図り、農業のお手伝いや清掃ボランティアなど学内外問わず積極的に活動している。

「部員は県外から秋田に転入した人が多い。秋田の方が気付いていない魅力を引き出し、眠っている資源を活用しようという視点で活動しています」。



### ハンドメイドアクセサリ

#### NiCotto\*

佐藤 彩乃さん(仙北市)

金属アレルギーに対応した手づくりアクセサリを作り、販売している佐藤さん。現在は秋田市内のお店での委託販売のほか、Webでの販売を行っている。

「起業したのは3年前です。幼いころから細かいものを作るのが好きでした。母が金属アレルギーだったことからアレルギーでも着けられる商品を作るようになりました。実際、金属アレルギーのお客様は多くいらっしゃるので、喜んでいただけて嬉しいです。将来的には自分のお店が持てたらと思っています」。

